THE NIKKAN KENSETSU TIMES

2022（令和4）年
8月8日（月曜日）
千葉版
第15272号

昭和41年12月14日　第３種郵便物認可　©日刊建設タイムズ社2022

日刊建設タイムズ

www.k-times.com

発行所　日刊建設タイムズ社
〒260-0854　千葉市中央区長洲1-33-15　タイムズビル
電　話043-225-5911　ＦＡＸ043-224-4136
Eメール info@k-times.com
日刊（土・日・祝日休刊）
購読料　1か月　8,316円（うち税616円）
6か月 49,896円（うち税3,696円）

千葉エンジニアリング株式会社
一貫した調査体制の充実
調査品質の向上
ASK　ME！
〒261-0005 千葉市美浜区稲毛海岸 2-1-31
TEL.043-244-2311 ホームページはこちら→

きょうの紙面

公共 木更津市／２排水機場改修へ保全計画を策定 2
公共 浦安市／工費9.5億円で美浜南小・日の出小改修 2
公共 九十九里町／庁舎や新橋整備等持続発展計画 2
公共 成田市／中台運動公園命名権契約締結式開催 2
民間 千葉市中高層／ＳＨＴが３階7.2万㎡倉庫等 2
民間 トウケン／緑区に共住大和ハウスで９日着工 2

新拠点ゾーン最優力

新庁舎に249億円、8年見込む

松戸市　公共施設再編整備検討委

松戸市は、3日に開いた公共施設再編検討特別委員会で、市役所機能再編整備検討報告書を提示した。市役所の整備手法として、「新拠点ゾーン移転建て替え」のA案、「現地で一部建て替え（議会棟・別館は再利用）」のB案、「現地で全部建て替え」のC案について比較・評価を実施した結果、概算事業費249・2億円、事業期間約8年のA案が最も優れているとして「新拠点ゾーンへの移転・建て替えが望ましい」と報告した。

A案については、執務スペースや駐車場の仮移転先の確保が不要であることから実現性が高く、災害対応拠点やまちづくり等の全ての視点において優れているとした。B案およびC案については、執務スペースや駐車場の仮移転先確保のめどが立たず、事業スケジュールやにぎわい向上への効果等において劣ると評価した。

事業期間は、A案約8年、B案約13年、C案約12・5年を想定。また、建て替え回数は、A案1回、B案3回、C案5回を見込んでおり、ともにA案が優れているとした。

概算事業費は、A案249・2億円、B案259・7億円、C案253億円。

一方で、現地建て替えのB案およびC案を選択した場合でも、新拠点ゾーンをまちづくりに活用するため「まちづくり基盤整備関連費52億円」が別途、必要となる。

市役所の整備に当たっては、諮問機関として、整備に係る計画等の策定に関する事項等について調査・審議する「市庁舎整備検討委員会」を4月に設置。これまで5回にわたって開催しており、9月上旬の中間答申および概要骨子、2023年3月上旬の最終答申を予定している。

候補地比較における評価項目は、災害対応拠点、まちづくり、市民サービス等、事業スケジュール、事業の実現性の5つの視点。

市役所整備の前提条件として▽新拠点ゾーンへの多機能拠点づくり▽相模台地区土地区画整理事業の完遂▽地震時の安全性確保と地震後の業務継続▽耐震安全性の分類を構造体Ⅰ類・建築非構造部材Ａ類・建築設備甲類とする▽執務・議会床に3万4980㎡を確保▽駐車場台数280台――などを挙げた。

千葉市　来年2月末まで調査

幕張橋等でドローン活用

千葉市は5日、ドローン関連産業の振興などを目的として、ドローン活用推進事業の公募を開始した。行政サービスの向上・業務効率化に向けた「行政課題型」として、水中ドローンを活用した幕張橋と浪花橋の橋梁洗掘調査を委託。委託費は100万円以内。委託期間は、契約締結日から2023年2月28日まで。

幕張橋は、花見川区幕張町に所在。一級河川印旛放水路（花見川）に架かる市道稲毛120号線の道路橋。1964年度の架設。規模は橋長46・65m、幅員10・3m。浪花橋は、花見川区浪花町に所在。一級河川印旛放水路（花見川）に架かる市道浪花町39号線の道路橋。67年度の架設。規模は橋長55・5m、幅員6m。

応募資格は、民間企業、NPO法人、一般社団・財団法人、公益社団・財団法人、事業協同組合等であることなど。

実施設計については「平山水管橋（Ⅰ期・Ⅱ期）更新実施設計委託」としてオオバが担当しており、年度内に取りまとめる。

今後は、19日まで質問書の提出を受け付け、23日に回答。29日に参加申し込みの受け付けを締め切り、希望者のみを対象として9月上旬に現地視察を実施。同月16日まで企画提案書の提出を求め、10月上旬にプレゼンテーション審査を行い、同月中旬に審査結果を通知する。仕様書の作成などが完了後、業務委託契約を締結する。

もので、用地取得および、河川管理者の県千葉土木事務所との協議が完了次第、2025年度以降に一般競争入札で工事発注し、2か年で施工する見込み。

平山水管橋は1977年の架設。千葉市緑区平山町で支川都川を渡河し、千葉市と市原市の京葉工業地帯に配水している。パイプビーム形式で、一対の重量式橋台に鋼管2系統が設置されている。各系統の規模は、支間長19m、外径1500㎜。

新たな水管橋は、既存の水道橋から約10m上流に建設する。形式、管種、外径、下部工は既存と同様。支間長は16mとなる。

系統ごとに更新を行うことで、配水機能を維持しながら施工する方針。

県千葉工業用水道　25年度以降に発注

平山水管橋の更新工事

県企業局千葉工業用水道事務所は、平山水管橋の更新を計画している。老朽化と耐震性の不足に対応するもので、用地取得および、河川管理者の県千葉土木事務所との協議が完了次第、2025年度以降に一般競争入札で工事発注し、2か年で施工する見込み。

平山水管橋は1977年の架設。千葉市緑区平山町で支川都川を渡河し、千葉市と市原市の京葉工業地帯に配水している。パイプビーム形式で、一対の重量式

東金市　22年度優良建設業者表彰

東松建設など栄誉

今後も市の発展貢献

鹿間市長（中央）を囲む受賞者

謝辞を述べる伊藤代表取締役

市長から賞状を受け取る伊藤代表取締役

東金市は5日、2022年度優良建設業者表彰式を市役所2階202会議室で執り行った。表彰対象は、21年度に優れた施工内容で工事を完成させた東松建設㈱と庄司工業㈱。あいさつに立った鹿間陸郎市長は「新型コロナウイルス感染拡大や資材高騰など厳しい状況が続く中、事故もなく、優れた品質でインフラ施設を完成させていただいたことを大変心強く思っている」とたたえた。

受賞者を代表して東松建設㈱の伊藤公男代表取締役が登壇し、「受賞に至ったのは市長をはじめ、担当職員の皆さま、工事に関わる方々の指導・協力の賜物」との見解を示した上で、「建設業者は地域の安心・安全に寄与し、社会資本の整備に貢献することが使命であり、この栄誉を励みに、今後も引き続き品質確保と技術向上に努め、市の発展に貢献していきたい」と謝辞を述べた。

表彰は、市内の建設業者の意欲を高めるとともに、施工技術の向上を図ることが目的。今回は、21年度に完成した請負金額500万円以上の土木一式工事または建築一式工事のうち、市内建設業者が施工し、工事成績評定点75点以上を獲得した9件の中から対象を選定した。

受賞者および受賞工事は次の通り。

〔▽受賞者＝①工事名②工種③請負代金額〕

▽東松建設㈱＝①菱沼区内線水路整備工事②土木一式工事③924万8800円

▽庄司工業㈱＝①市道0152号線（東中）道路改良工事②土木一式工事③7191万8000円

【工事概要】菱沼地先の地域排水路菱沼区内線における自由勾配側溝などの整備。
▽自由勾配側溝（幅900㎜×高さ800㎜）工事延長＝56m▽幅900㎜用自由勾配側溝蓋＝51枚▽幅900㎜用グレーチング蓋＝5枚

【表彰理由】対象の水路が接する市道は狭あいで通学路にもなっていたが、現場特性を理解し、保安対策や仮設などを工夫した。現場が適切に管理されており、出来栄えが良好だった。

【工種】土木一式工事
【請負金額】924万8800円
【工期】2021年12月17日～22年3月22日

菱沼区内線水路整備工事
東松建設　株式会社

県生コン工業組合　「技術セミナー」に45人

下期監査の留意事項

勝呂理事長

技術セミナーが4日、千葉市内の京成ホテルミラマーレ千葉で開かれ、45人が受講。講演は「品質管理監査関係について」と「土木分野のコンクリートに関する最近の話題」に大別した。

品質管理監査関係では、本年度の下期総合監査にあたっての留意事項をはじめ、適合判定基準、実地検査要領、監査基準チェックリストの主な改正点などを確認。講師は、同工組技術委員の奥山藤雄氏、平松宗男氏、西野正之氏が務めた。

本年度の下期監査は、千葉県生コンクリート品質管理監査会議が9月1日から10月7日にかけて、千葉県生コンクリート工業組合の58工場（61プラント）を対象に実施する予定。（内容は5日付1・2面を参照）

土木分野のコンクリートに関する最近の話題では、千葉工業大学の橋本紳一郎・准教授が講師を務め、ウエブで講演した。

「品質監査関係」で講師を務めた工組技術委員の（左から）奥山氏、平松氏、西野氏

ユーザーに対する信頼と信用の要に

講演に先立ち勝呂理事長は、県内の本年度の生コン需要について「約280万㎥程度の出荷が見込まれるが、各協組の地域間によっては、出荷量の較差が激しい1年になるのではないか」との見通しを示した。

一昨年から生コンのセメント、骨材を含む原材料の急激な値上がりが続き、さらに10月には、セメント各社による値上げが予定されることには「我々にとって、大変苦しい状況となる」との窮状を訴えた。

一方で、品質管理監査について「高品質な生コンを安定的に供給することを、我々の義務として行わなければならない」とした勝呂理事長は「その中での『○適マーク』は、ユーザーに対する信頼・信用の要である。協力を賜りたい」と呼びかけ、あいさつとした。

臨時休刊のお知らせ

夏季休業のため、15日（月）～17日（水）付の新聞は臨時休刊とします。18日（木）付から通常発行となります。ご了承ください。日刊建設タイムズ社

東松建設 株式会社
代表取締役　伊藤　公男
〒283-0805　東金市松之郷 2178
TEL：0475-52-3375　FAX：0475-54-3689

ICTトータルステーション導入実績 H.25.6

生産性向上　常に出来高を確認しながら作業が出来るため、施工時間が短縮
施工品質向上　常に測定を行いながら施工するため、施工品質が向上
コスト削減　丁張と検測作業が不要になるため、人件費の削減
安全性向上　稼働中の機械周辺に検測作業員が立ち入る必要がないため接触事故防止、安全性向上

トータルステーション付保有機械

ブルドーザ	グレーダー	切削機	バックホウ	フィニッシャー
D21P	MG230Ⅲ(3.1m)	W210	320E(0.7)	1803-3i
D3K	12M3(4.3m)			HA60W

東和道路株式会社
千葉市若葉区高品町230-1
TEL 043-233-2271　FAX 043-233-1194
http://www.touwadouro.co.jp/　touwadouro@mtf.biglobe.ne.jp
ISO9001 H.22.12取得
ISO14001 H.23.12取得
ISO45001 H.30.12取得